



ゼロエミッション 活動

June 2022

「ゼロエミッション」の定義



インテグリスは、従業員、お客様、ビジネスパートナーの安全を確保することに全力で取り組み、世界の天然資源を保全するために環境に配慮した方法で事業を行うよう努めています。

環境に配慮した取り組みの一つとして、生産活動で発生する産業廃棄物について、埋立処分を行わない取り組みを実施し「リサイクル率 99% 以上」をゼロエミッション達成と定義しています。

この定義に従い、米沢工場は 2021 年にゼロエミッション達成工場となりました。

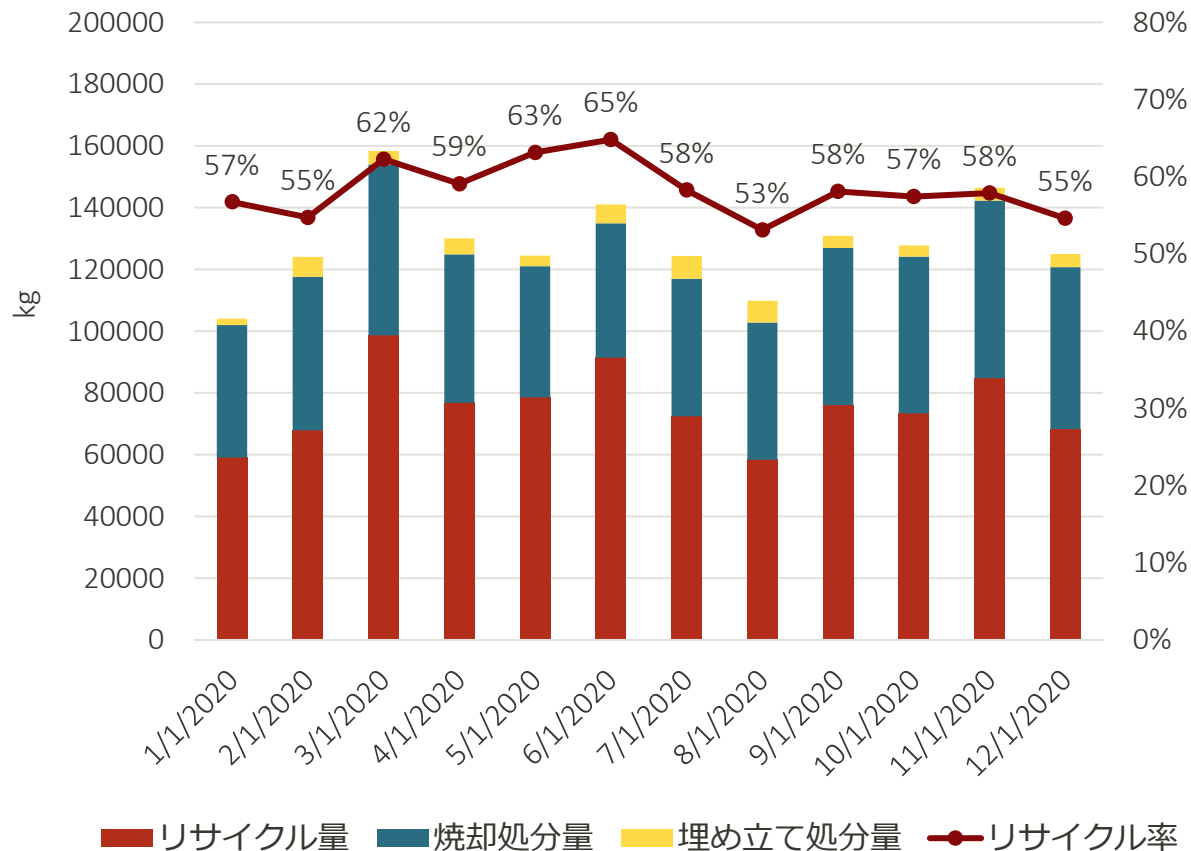


ゼロエミッション達成までの取り組み

2020年：平均リサイクル率 58.4%

リサイクル率 (2020年1月～2020年12月)

平均リサイクル率：58.4%



私たちが排出している廃棄物の処分方法について、廃棄物処理業者へ訪問し、単純焼却および埋立処理をしている廃棄物の洗い出しを行いリサイクルするための課題を洗い出しました。

また、社内においては廃棄物の分別による有価物化への検討や、施設設備の構造的課題など様々な角度からゼロエミッション達成へのロードマップを作成しました。

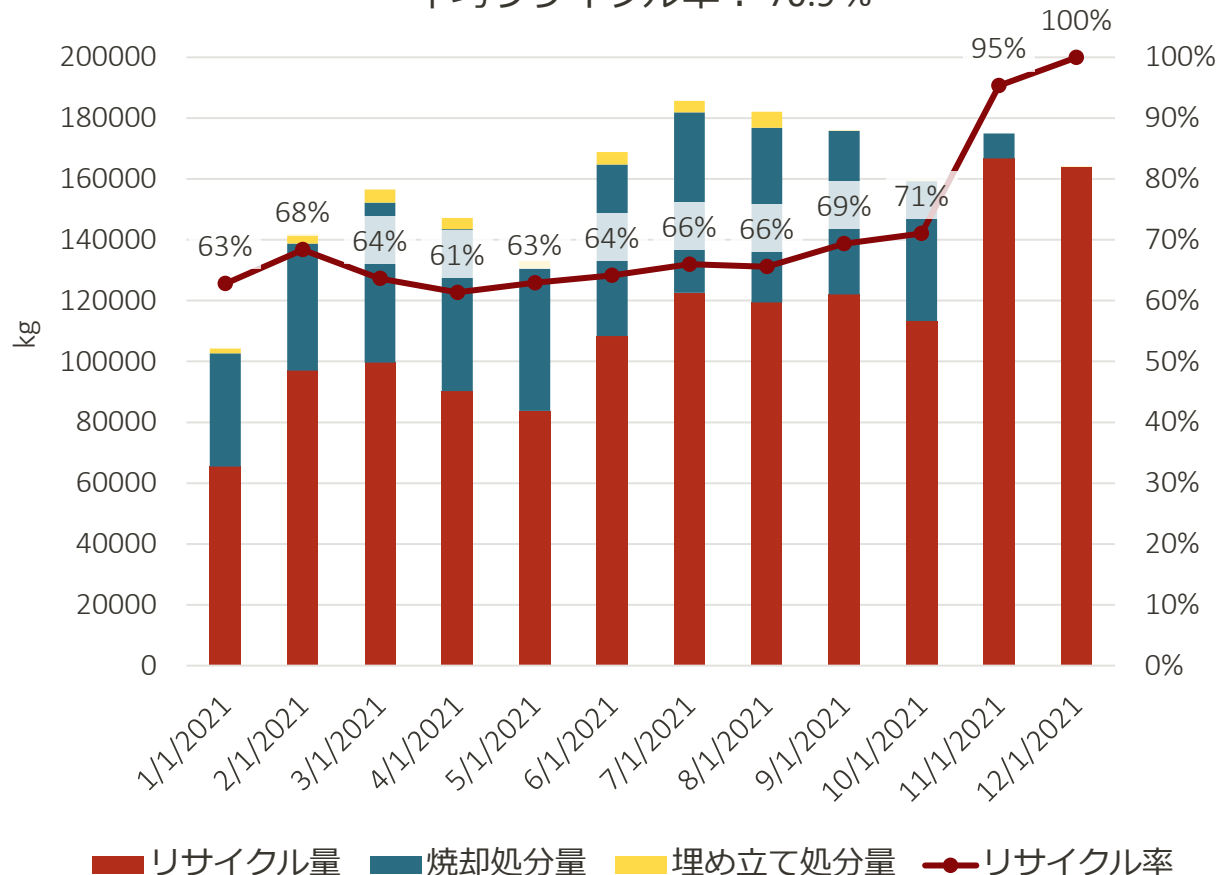
全社で取り組んでいるゴミの分別の教育も強化していきました。

ゼロエミッション達成までの取り組み

2021年12月に「ゼロエミッション」を達成 (リサイクル率 99.96%)

リサイクル率 (2021年1月～2021年12月)

平均リサイクル率：70.9%



製造部門、施設部門、環境安全部門の担当者による「ゼロエミッションプロジェクト」を立ち上げ、課題解決への施策を立案し、実行に移してきました。

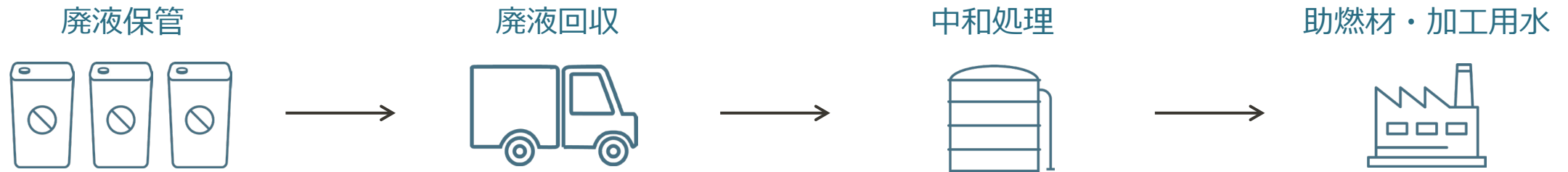
具体的な施策としては、「混合廃棄物のリサイクル向上」、「廃液の廃棄処分から有価売却による再資源化」、「配管ラインの切り換えによる回収頻度低減」など、リサイクル率向上の施策のみならず、環境の負荷低減や、廃棄物処理費用の削減も併せて取り組みました。

その結果、2021年9月に廃液のリサイクル化と共に、廃棄処分から有価売却の改善が実現し、リサイクル率が69.4%となりました。

そして2021年12月、配管ラインの切り換えが完了し、リサイクル可能な業者による廃液回収が可能となったため、リサイクル率は99.96%に達し、ゼロエミッションを達成することが出来ました。

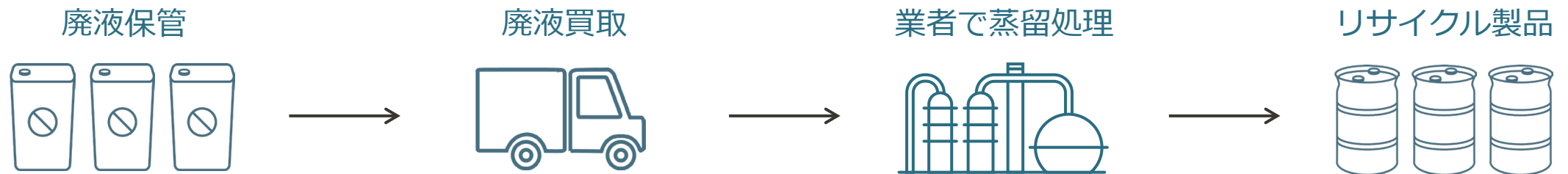
廃液の再資源化の取り組み： 廃棄物から有価物へ

既存の廃液再利用フロー (廃棄物として処理)



廃液は中和処理され、製紙工場の加工用水や焼却炉の助燃材として再利用される。

新しい廃液再利用フロー (有価物として売却)



廃液は業者へ到着時有効となり、蒸留処理されリサイクル溶剤として商品化される。

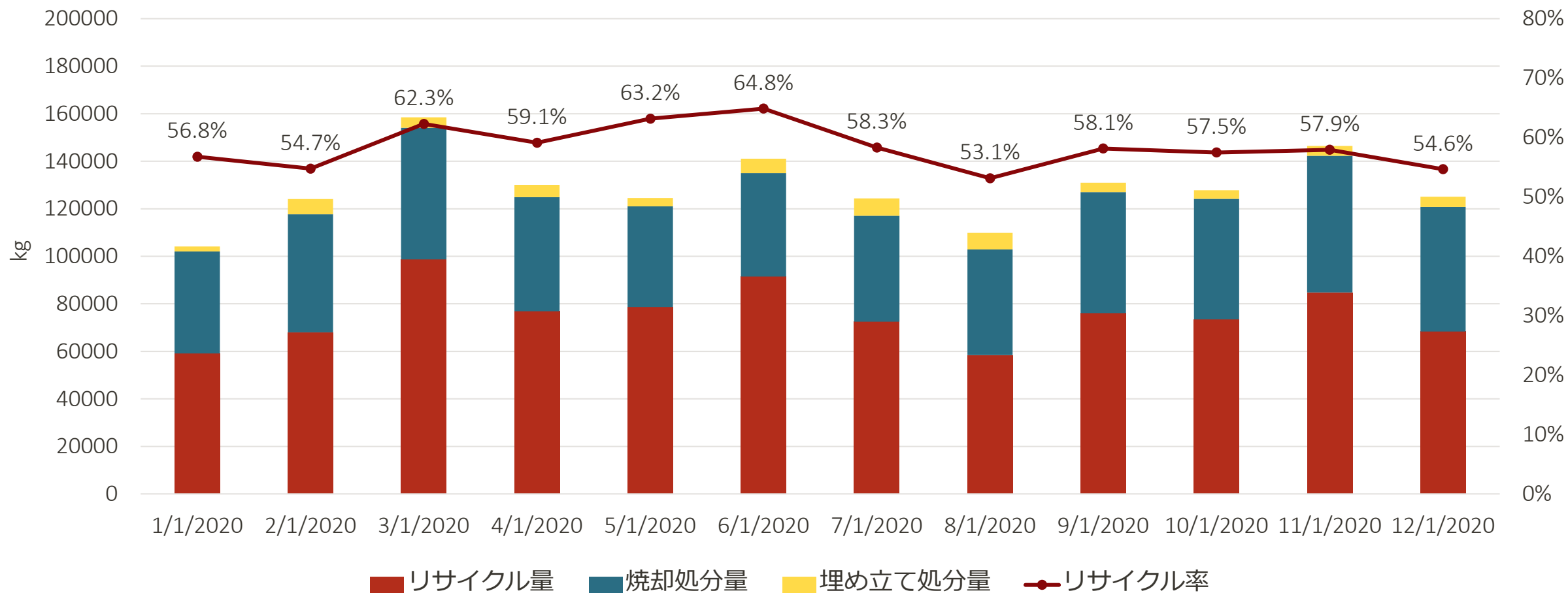
付録

グラフ



リサイクル率 (2020年1月～2020年12月)

平均リサイクル率：58.4%



リサイクル率 (2021年1月～2021年12月)

平均リサイクル率：70.9%

